

おうちで百人一首

ひやくにんいつしゆ

中・高学年向け

〽 百日後にマスターするわたし

ひやくにちご

七日目

〽

今日の一首

ちゆうなごんやかもち
中納言家持

上の句

かささぎ

鵲の

わた はし
渡せる橋に

お しも
置く霜の

下の句

しろ

白きを見れば

よ ふ
夜ぞ更けにける

歌の意味

はし

たなばた

よる

かささぎ

この橋は七夕の夜、

鵲という鳥が

あま

かわ

わた

はし

に

かたち

天の川に渡す橋によく似た形をして

すこ

います。そこに少しずつ霜が降り始

はし

ま

しろ

めていましたが、橋が真っ白になる

よる

ふ

ほど、もう夜が更けてしまいました。

八日目の歌は・・・

まとめしき！

まんようしゆう

『万葉集』という和歌集

わかしゆう

ちゆうしん

を中心となつてまとめた

ちゆうなごんやかもち

のが中納言家持。この本に

かれ

よ

うた

は彼の詠んだ歌が四八〇

しゆう

しゆうろく

首も収録されています。

かい こえ だ
3回、声に出して
よ
読んでみよう！



君がため 惜しからざりし

いのち

命さへ

なが

永くもがなど

おも

思ひけるかな